

事業カルテ (3年度決算)

教育振興課

10-05-01-969

多摩ふるさと資料館開設準備・管理運営事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	文化財保護法、多摩市文化財保護条例、多摩市立多摩ふるさと資料館条例				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち					
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり				
	施策	3	文化の継承と創造				
	関連する施策	-	-	-	-	-	
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム						
関連する報告書など	多摩市の教育、旧北貝取小学校跡地活用基本方針、(仮称)旧北貝取小学校跡地施設管理運営方針						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成31年4月 「旧北貝取小学校跡地活用基本方針」決定 令和2年10月 多摩市立多摩ふるさと資料館設置条例制定 令和3年3月 指定管理者決定 文化財が市内に分散收藏され展示事業や学校への貸出しの度、各施設を回って資料を集め、終了後は収納に回るという非効率な作業に追われていた。また、文化財の適切な收藏を維持する上でも非効率であったことから、收藏を一ヶ所に集約して効率化を図るため「旧北貝取小学校跡地活用基本方針」において多摩ふるさと資料館の設置方針が決定され、令和4(2022)年4月に開館した。						

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	令和3年度
事業の目的、 令和3年度の目標	文化財の保管、收藏展示及び文化財を利用した体験学習、情報発信等を行うことで、郷土の文化に対する市民の理解を深め、後世に継承する事を目的に令和4(2022)年4月1日「多摩ふるさと資料館」を開館する。令和3年度は資料館開設準備や市内4施設で保管してきた文化財資料の集約・運搬等を行う。	
予算の執行方法	指定管理料、物品運搬業務委託料、收藏資料室展示設備製作等業務委託料、收藏展示室等改修工事費、備品購入費、維持管理経費(消耗品、印刷製本費、電話料、借上料)等	
事業の成果	令和3年度は多摩ふるさと資料館の開設準備や市内4施設で保管してきた文化財資料の集約・運搬等を行った。	

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額(単位:千円)	0千円	0千円	0千円	0千円	16,570千円		
事業にかかる実コスト	0千円	0千円	0千円	0千円	22,782千円		
内訳	直接経費	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円	
		一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円	16,570千円
	間接経費	職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	6,212千円
		《従事人員数》	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.75人
その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	資料館開館日数 ※令和4年4月開館のため、令和3年度までは指標を設定しない	目標	—	—	345日
		結果	—	—	—
成果指標 (アウトカム)	資料館来館者数 ※令和3年度は開館準備であり成果指標を示すことがないため、設定しない。	目標	—	—	3,000人
		結果	—	—	—

特記事項

市民活動・交流センター部分の維持管理も同一の指定管理者が行うため、施設管理にかかる費用及び光熱水費は両施設で按分し、それぞれの施設で指定管理料を支出。

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方今 向後 性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
B	B	B	イ	

<多摩ふるさと資料館開設準備・管理運営事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 事業経費執行状況

(円)

年度	経費合計	経費内訳					
		需用費	役務費	委託料	使用料及び賃借料	工事請負費	備品購入費
29	—	—	—	—	—	—	—
30	—	—	—	—	—	—	—
元	—	—	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—	—	—
3	16,569,787	157,274	18,027	13,380,050	5,342	96,910	2,912,184

2 実施事業（概要）

多摩市立多摩ふるさと資料館（以下「資料館」）の開館に向けて、以下の事業を実施した。

- (1) 文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議する「多摩市文化財保護審議会」（識見：9人）に対し、資料館の施設・展示コンセプト及び各室レイアウトについて協議し、意見を反映して展示コンセプト等を決定した。
- (2) 令和4年2月～3月上旬に、4施設（旧西落合中学校文化財資料室、旧豊ヶ丘中学校、旧中諏訪小学校、多摩第三小学校郷土資料室）に保存していた文化財資料を資料館に搬入した。
- (3) 多摩市にかつてあった養蚕農家「旧小泉家住宅」の一部復元作業を行った。なお、復元方法の検討に想定以上の時間を要したため、令和4年度予算に繰越を行った。
- (4) 民俗・生活資料（生活・農具・養蚕・紡織・運搬計測等に関する資料）のうち、破損や欠損、同型資料があること等により管理・保管を要しなくなった資料について、利用を希望する市内小中学校、公共施設、一般利用希望者を募集して再活用を図った。
また、応募のなかった資料は令和4年3月に処分（廃棄）した。
- (5) 展示室の開設に向けて、市が所有する文化財資料（市指定有形文化財「調布玉川惣画図」等）の展示を行うための展示パネルの製作・設置作業、施設用備品の購入、パンフレット印刷等を行った。

事業カルテ (3年度決算)

文化・生涯学習推進課

10-05-01-983

旧北貝取小学校跡地整備事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち	
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり
	関連する施策	—	—
関連する個別計画	多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム		
関連する報告書など	旧北貝取小学校跡地活用基本方針、(仮称)旧北貝取小学校跡地施設管理運営方針		
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	<p>平成25年11月 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」で施設の今後の方向性を示す。</p> <p>平成30年度 学校跡地施設利用団体との懇談会や市民ワークショップを開催し広く市民の意見を聴きながら基本方針案をまとめた。</p> <p>平成31年4月 「旧北貝取小学校跡地活用基本方針」決定</p> <p>令和2年1月 「(仮称)旧北貝取小学校跡地施設管理運営方針」決定</p> <p>令和2年10月 施設設置条例制定</p> <p>令和2年12月 整備工事着工</p> <p>令和3年3月 指定管理者決定</p> <p>令和4年1月 整備工事竣工</p> <p>令和4年4月 開館</p>		

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成30年度

事業の目的、 令和3年度の目標	<p>【事業の目的】「旧北貝取小学校跡地活用基本方針」に基づき、令和4年4月の施設開館に向けて、旧北貝取小学校に「市民活動・交流センター」及び「多摩ふるさと資料館」を整備する。</p> <p>【令和3年度の目標】指定管理者協定締結(令和3年4~6月末)、整備工事竣工(令和4年1月)、並びに施設備品の購入及び閉鎖する東永山複合施設等からの備品を搬入し開館に備える。</p>
予算の執行方法	旧北貝取小学校跡地整備にかかる施設整備工事監理業務委託料(継続費)、施設整備工事費(継続費)、物品等運搬業務委託料、初度備品購入費
事業の成果	指定管理者との基本協定は令和3年6月16日付けで締結し、整備工事は予定どおり令和4年1月7日に竣工した。また、令和4年4月の開館に向けて、施設備品の調達及び運搬等の準備を滞りなく行った。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	0千円	2,068千円	7,000千円	106,780千円	757,410千円	
事業にかかる実コスト	0千円	8,788千円	15,582千円	122,685千円	767,349千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
	都支出金	0千円	0千円	0千円	25,000千円	280,406千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	60,000千円	200,000千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	2,068千円	7,000千円	21,780千円	277,004千円
間接経費						
職員人件費	0千円	6,720千円	8,582千円	15,905千円	9,939千円	
《従事人員数》	0.00人	0.80人	1.00人	1.90人	1.20人	
その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	旧北貝取小学校跡地整備事業の円滑な執行	目標	基本・実施設計の完了、工事の着手	跡地施設整備工事竣工	—
		結果	基本・実施設計の完了、工事の着手	跡地施設整備工事竣工	—
成果指標 (アウトカム)	市民参加や情報共有により、市民団体の意見も取り入れた施設整備とする。	目標	基本・実施設計の情報提供	完成施設の情報提供	—
		結果	利用者懇談会を書面で実施	利用者懇談会・運営協議会開催	—

特記事項

利用者懇談会や運営協議会を開催し、施設の利用ルール等について利用団体の意見を聴取した。施設備品については、利用団体の意見を取り入れた配置としている。

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し	方 向 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 的 財一 源般		
N	*	*	*

<旧北貝取小学校跡地整備事業>

◇ 執行状況及び成果等

旧北貝取小学校跡地施設は、平成30年度に実施した利用者懇談会やアンケート、ワークショップ等を通じて得られた意見を基に、施設の基本理念や施設整備の方向性等についてまとめた「旧北貝取小学校跡地活用基本方針」を平成31年4月に策定した。

この基本方針に基づき、令和元年8月に旧北貝取小学校跡地整備基本・実施設計業務委託の契約を締結し、令和2年7月に基本・実施設計が完了した。

施設整備と並行して、管理運営の内容について検討を行い、パブリックコメントの実施を経て「（仮称）旧北貝取小学校跡地施設管理運営方針」を令和2年1月に策定した。

整備工事は、令和2年12月に着手し、予定どおり令和4年1月に竣工した。

1 経過

令和2年 7月	旧北貝取小学校跡地整備基本・実施設計完了
12月	旧北貝取小学校跡地施設整備工事着工
令和4年 1月	旧北貝取小学校跡地施設整備工事竣工

2 経費内訳

(単位：円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
報償費（各種委員・講師謝礼）	200,000	-	340,000	-
食糧費	12,510	-	-	-
活用基本方針策定支援業務委託料	1,855,556	-	-	-
基本・実施設計業務委託料 （令和元・2年度継続費）	-	7,000,000	16,910,040	-
廃棄物等処理業務委託料	-	-	629,860	-
初度備品購入費	-	-	-	1,797,290
物品等運搬業務委託	-	-	-	313,200
整備工事監理業務委託料（令和2・3年度継続費）	-	-	6,800,000	16,168,000
整備工事（令和2・3年度継続費）	-	-	82,100,000	713,244,000
内訳	施設整備工事	-	-	(511,830,000)
	給排水衛生設備工事	-	-	(75,350,000)
	電気設備工事	-	-	(55,300,000)
	空調設備工事	-	-	(26,800,000)
グラウンド等整備工事	-	-	-	25,887,400
合計	2,068,066	7,000,000	106,779,900	757,409,890

事業カルテ (3年度決算)

永山公民館

10-05-02-650

永山公民館管理運営費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	社会教育法第20条、同法第22条6号			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	C1-1	C1-2	C2-2	-	-
関連する個別計画	第3次多摩市生涯学習推進計画、多摩市教育振興プラン					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成9年4月1日、複合施設「ベルブ永山」に開館。利用者の立場に立った運営として、ホール使用料の割引制度の導入や利用枠改善のための公用利用の調整などを実施。光熱水費などの諸コストの節約や駐車場無料制限時間の変更にも取り組む。開館20年を経て、安定的な施設提供のため、平成29年度には一部の設備の改修工事を実施し、今後も安定的な施設提供に努めた。					

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和3年度の目標	社会教育法に基づく社会教育施設としての利用に供するため、施設を円滑に管理運営していく。利用者懇談会等を通じて、利用者の視点に立った貸館業務の改善や窓口対応の向上を図るとともに、管理組合・指定管理者と十分連携して施設内の安全管理を確保し、老朽化する設備等の計画的な修繕に取り組むことで、良好な施設の管理に努める。	
予算の執行方法	ベルブ永山の施設運営に関する経費(光熱水費、修繕費、施設総合管理委託、保守委託、駐車場指定管理料、ホール運営委託、管理組合共益費など)、施設の窓口対応に要する経費(夜間・祝日受付など)を、コロナ禍において求められる感染症対策に対応しながら支出した。	
事業の成果	設備、備品等の不具合部分の修繕などの維持を計画的に行うとともに、電気等のエネルギー消費量の工夫などのコスト削減に取り組み、良好な施設運営を継続することにより、地域の学習拠点として市民同士がつながり、様々な市民活動を促進する場として、ハード、ソフト両面において、利用者気持ちよく使っていただけるよう施設管理を行った。なお、例年開催している利用者懇談会については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、開催を見送った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全な施設利用のための利用条件(3密対策12項目)を定め、必要な感染症対策を行いながら施設貸出を行った。感染状況の変化等、適宜対応し、また、利用者にもご協力いただきながら、安全な利用・施設管理を行うことができた。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	375,918 千円	179,314 千円	164,246 千円	168,367 千円	166,997 千円	
事業にかかる実コスト	408,169 千円	210,403 千円	196,710 千円	201,118 千円	200,347 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	70,311 千円	11,601 千円	0 千円	0 千円	16 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	98,077 千円	22,382 千円	18,946 千円	11,543 千円	17,912 千円
	一般財源	207,530 千円	145,331 千円	145,300 千円	156,824 千円	149,069 千円
	間接経費					
職員人件費	26,439 千円	25,202 千円	25,747 千円	25,113 千円	24,848 千円	
《従事人員数》	3.00 人	3.00 人	3.00 人	3.00 人	3.00 人	
その他の人件費	5,812 千円	5,887 千円	6,717 千円	7,638 千円	8,502 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	年間施設(貸館)使用可能件数	目標	11,055件	11,055件	11,154件
		結果	8,781件	10,425件	—
成果指標 (アウトカム)	実際の施設利用件数(利用延人数)	目標	7,905件 107,296件	7,604件 102,973人	7,683件 103,831人
		結果	4,751件 39,073人	6,102件 51,218人	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し	方 今 向 後 の 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 的 財一 源般		開館20年以上を経た現在、コロナ禍において必要な対策を講じつつ、日々の管理点検を実施し、今後も利用者にとって快適で安定的な施設として提供し続けていけるよう施設管理に努める。
B	B	B	イ

<永山公民館管理運営費>

◇執行状況及び成果等

1 施設使用状況

年 度	使用可能件数	使用件数				使用率 (%)	使用人数 (人)
		目的内	官公庁	主 催	計		
29	10,821	6,456	261	803	7,520	69.5	103,158
30	11,154	6,641	285	824	7,750	69.5	105,192
元	10,263	5,851	282	780	6,913	67.4	89,542
2	8,781	3,750	415	586	4,751	54.1	39,073
3	10,425	5,112	364	626	6,102	58.5	51,218

*使用可能件数：貸館事業で、年度内に使用可能な貸出単位数
貸出単位は、毎日各室とも9時～12時、13時～17時、18時～22時の3単位
下記、新型コロナウイルスによる臨時休館等
※4/ 1～ 4/26 21時閉館
※4/27～ 4/28 20時閉館
※4/29～ 5/11 臨時休館
※5/12～ 9/30 20時閉館
※5/ 1～ 8/ 2 ワクチン接種会場として使用（ベルブホール）
※10/1～10/24 21時閉館

2 管理経費

(円)

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経費合計	375,917,687	179,314,196	164,245,703	168,367,106	166,997,016
報酬	—	—	—	—	—
報償費	—	70,900	—	—	—
旅費	—	—	—	—	—
需用費	29,956,046	29,176,112	26,390,858	25,359,535	27,010,503
役務費	1,224,034	1,212,293	1,258,810	1,144,724	1,138,369
委託料（公民館施設総合 管理委託料他）	64,065,437	54,644,368	56,066,415	56,475,950	57,279,878
使用料及び賃借料	344,662	347,242	318,141	279,843	345,222
工事請負費	200,751,520	15,185,880	—	—	—
原材料費	4,730	0	7,920	8,052	0
備品購入費	1,246,104	890,784	870,490	1,224,300	—
負担金・補助及び交付金	78,277,894	77,766,442	79,301,934	82,487,777	80,819,734
償還金・利子及び割引料	38,460	20,175	22,335	1,386,925	403,310
公課費	8,800	—	8,800	—	—

※委託料の内訳

(円)

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
永山公民館施設総合管理 業務委託	30,521,795	30,736,309	31,390,820	32,002,930	32,486,010
永山公民館ホール施設等 設備運営業務委託	9,326,340	9,292,320	9,378,360	9,913,200	9,913,200
休日及び夜間等窓口サー ビス業務委託	4,263,114	4,489,659	4,516,523	3,681,920	4,002,768
多摩市営永山複合施設駐 車場指定管理料	8,687,520	8,687,520	8,767,952	8,848,400	8,848,400
永山公民館空調機分解整 備業務委託	9,898,200	—	—	—	—
その他	1,368,468	1,438,560	2,012,760	2,029,500	2,029,500

事業カルテ (3年度決算)

永山公民館

10-05-02-651

学級・講座等社会教育事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	社会教育法第20条～第42条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C1	地域で支え合い、暮らせるまちづくり			
	施策	2	市民主体による地域づくりの推進			
	関連する施策	C1-1	C2-1	-	-	-
関連する個別計画	第4次多摩市生涯学習振興計画、第二次多摩市教育振興プラン					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和48年に多摩市公民館が開館し、社会教育法に基づく事業を開始した。永山公民館は平成9年に永山駅前が開館し、以来公民館として事業を継続して実施してきた。社会情勢や生活環境の変化等に対応して必要性や優先度を考慮して企画実施し、また一定の成果を上げた事業は見直しを行ってきた。事業開催に際しては市民及び市民団体と協働し、機会拡大と内容充実を図ってきた。					

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和3年度の目標	社会教育法に基づき、住民のために実生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため、市民の学習支援、地域づくりの支援を行う。地域活動につながる人づくりや市民・グループの学びの発展を目指し、市民間における交流のコーディネートや、地域・生活課題解決に寄与できるよう各種講座を展開する。令和3年度は、公民館の役割である「つどい」「まなぶ」「むすぶ」を基本に学ぶ場づくりとともに、日野市との連携事業におけるICT活用「たま学びテラス」事業の実践や地域、関係機関等と連携しながら、多くの世代に親しまれる公民館として市民活動の支援を行い、アウトリーチを含めた地域づくりに力をいれる。	
予算の執行方法	新型コロナウイルスの感染状況をみながら、主催、共催事業の実施にあたり必要な講師謝礼、講座開講時の保育等業務委託料など事業執行に必要な経費を、効果的・計画的に工夫し執行した。	
事業の成果	市民の様々な学びを大切にすることで社会教育活動が豊かなものとなり、知識や経験等を活かして地域活動への機会が創出されてきた。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベント事業等中止を止む無くされるなどもあったが、新たな手法で市民に学習の機会を広げる機会が持てたことで、社会教育活動も広がった。また、永山フェスティバルの写真展や市制50周年記念事業等、これまでの市民力を活かした事業展開もでき、公民館の認知度、未利用者層へのアプローチもできた。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	4,918 千円	4,950 千円	4,941 千円	1,591 千円	2,237 千円	
事業にかかる実コスト	41,651 千円	39,868 千円	41,393 千円	37,237 千円	37,451 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	181 千円	111 千円	129 千円	62 千円	49 千円
	都支出金	1,180 千円	1,078 千円	1,371 千円	786 千円	985 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源	3,557 千円	3,761 千円	3,441 千円	743 千円	1,203 千円	
間接経費	職員人件費	35,252 千円	33,602 千円	34,330 千円	33,484 千円	33,130 千円
	《従事人員数》	4.00 人	4.00 人	4.00 人	4.00 人	4.00 人
	その他の人件費	1,481 千円	1,316 千円	2,122 千円	2,162 千円	2,084 千円

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	各種学級講座および実行委員会共催事業等の開催	目標	42講座(184回) 2イベント	37講座(116回) 2イベント	53講座(150回) 2イベント
		結果	29講座(102回) 2イベント	41講座(144回) 2イベント	—
成果指標 (アウトカム)	事業のべ参加者数	目標	89,000人	45,000人	71,200人
		結果	10,002人	9,059人	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
B	B	B	イ	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業が中止、縮小、延期等となったが、あらためて「学び」や「つどい」から地域活動へのニーズも感じる中、今後の事業展開の手法等を含めて、社会教育活動として市民の学びを補償していく工夫と検討が必要。

<学級・講座等社会教育事業>

◇執行状況及び成果等

1 講座等参加者数の実績

講座名	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数
○市民企画講座	36	1,203	36	1,153	34	528	2	79	14	271
○ベルブゼミ	9	409	9	362	9	378	3	32	8	145
地域課題講座	6	128	5	147	6	193	—	—	—	—
○子育て支援講座	11	348	17	391	11	274	7	118	6	32
○保育室開放デー	12	283	12	378	11	336	10	90	13	174
○子育てつどいの広場事業	24	1,222	24	1,210	21	914	15	275	23	405
小学校PTA共催事業	1	165	1	87	1	48	—	—	—	—
○小学生対象科学等講座	11	543	10	443	5	188	12	61	10	159
○学校や地域と連携した事業 (子ども安全教室)	4	140	1	71	—	—	—	—	—	—
○家庭教育学級・講座事業	—	—	—	—	12	412	4	52	7	120
中学校PTA連合会共催事業	1	2,333	1	2,188	1	2,034	—	—	—	—
○職場体験等受入事業 (調べ学習受け入れ)	14	42	11	33	14	39	1	6	2	12
○人権を考える講座	—	—	4	454	2	231	2	99	1	93
○障がい者青年教室	9	314	9	314	9	307	4	123	4	116
○時事・現代課題講座	9	405	1	27	—	—	13	437	7	297
○市民講座	4	56	8	326	8	148	13	196	25	578
○永山フェスティバル	2	58,000	2	83,199	2	76,007	1	2,818	1	37
○地域イベント協力事業	1	98	1	263	1	50	—	—	—	—
○サロンライトコンサート	10	3,467	10	3,348	8	2,461	5	225	8	484
○TAMAシネマフォーラム	8	11,442	8	12,391	9	10,902	8	4,792	9	5,559
	6	1,044	6	1,104	5	1,339	1	94	2	457
アイスランドパネル展	—	—	—	—	—	—	1	285	—	—
公民館情報発信展	—	—	—	—	—	—	2	220	—	—
○公民館を知ってもらおう展 &市制施行50周年展	—	—	—	—	—	—	—	—	8	120
○公民館通信	6	/	6	/	6	/	6	/	6	/

※ ○の事業は令和3年度実施事業、「—」は未実施事業(時事・現代課題講座は中止。家庭教育学級・講座は令和元年度からの新規事業)、「/」は集計外

※ 講座名は年度によって異なる場合がある

講座別経費実績（単位＝円）

講座名	29年度			30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	講師謝礼	その他	補助金	講師謝礼	その他	補助金	講師謝礼	その他	補助金	講師謝礼	その他	補助金	講師謝礼	その他	補助金
○市民企画講座	568,000	120,042	0	594,000	75,631	0	279,000	106,256	0	0	0	0	218,000	14,608	0
○ベルブゼミ	263,000	21,461	0	278,000	0	0	156,000	101,242	0	69,000	0	0	180,000	0	0
地域課題講座	114,000	0	0	98,000	0	0	78,000	0	0	—	—	—	26,000	0	0
○子育て支援講座	291,500	306,881	0	289,000	391,618	0	307,000	315,432	0	198,000	152,065	0	138,000	147,015	0
○保育室開放デー	5,000	0	0	5,000	0	0	5,000	0	0	5,000	0	0	5,000	0	0
○子育てつどいの広場事業	0	518,400	0	0	533,954	0	0	478,800	0	0	411,400	0	0	556,600	0
小学校PTA共催事業	26,000	0	0	26,000	17,917	0	26,000	0	0	—	—	—	—	—	—
○小学生対象科学等講座	182,088	22,830	0	197,000	7,510	0	144,000	85,360	0	70,000	44,018	0	196,000	35,240	0
○学校や地域と連携した事業（子ども安全教室）	69,500	0	0	60,000	6,480	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
○家庭教育学級・講座事業	—	—	—	—	—	—	304,300	164,230	0	69,200	63,580	0	146,200	102,025	0
中学校PTA連合会共催事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
○職場体験等受入事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○人権を考える講座	—	—	—	10,000	0	0	63,000	0	0	13,000	0	0	0	0	0
○障がい者青年教室	217,000	30,000	0	215,000	35,966	0	274,000	30,252	0	98,000	27,535	0	72,000	29,173	0
○時事・現代課題講座	93,000	17,577	0	0	0	0	—	—	—	2,000	151,848	0	53,000	60,470	0
○市民講座	82,000	32,643	0	260,000	6,171	0	160,000	32,745	0	115,000	0	0	108,500	54,076	0
○永山フェスティバル	0	0	1,800,000	0	0	1,800,000	0	0	1,800,000	0	0	86,000	0	0	65,218
○地域イベント協力事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
○サロンライトコンサート	35,000	0	0	30,000	12,641	0	30,000	0	0	15,000	0	0	30,000	0	0
○TAMAシネマフォーラム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アイスランドパネル展	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	—	—	—
公民館情報発信展	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	—	—	—
○公民館通信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ ○の事業は令和3年度実施事業、「—」は未実施事業（時事・現代課題講座は中止。家庭教育学級・講座は令和元年度からの新規事業）

※ 講座名は年度によって異なる場合がある

事業カルテ (3年度決算)

関戸公民館

10-05-02-652 関戸公民館管理運営費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	社会教育法第20条～第42条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	C1-1	C1-2	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、第4次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成11年9月23日、市街地再開発事業により民間施設等との合築で関戸公民館として開館。利用者の立場に立った運営として、ホール使用料の割引制度の導入や利用枠改善のための公用利用の調整を実施。光熱水費などの諸コストの節約に取り組んできた。また、安定的な施設提供のため、20年目の大規模改修工事を計画。令和元年度にホールの工事を行い、令和3・4年度の2か年にかけてその他の施設工事を行っている。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期 平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	社会教育法に基づく社会教育施設としての利用に供するため、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ円滑な管理運営を行う。令和2年度では利用者懇談会を実施できなかったため、意見箱を設置して利用者の声を公民館運営に反映させた。また、将来的に安定的な施設提供を行うため、20年目の大規模改修工事として令和3・4年度の2か年にかけて工事を実施しており、良好な施設の管理に努めた。
予算の執行方法	関戸公民館の施設運営に関する経費(光熱水費、修繕費、施設総合管理委託、保守委託、ホール運営委託、管理組合共益費など)、施設の窓口対応に要する経費(夜間・祝日受付など)、新型コロナウイルス感染症対策を講じるための消耗品経費を支出した。また、20年目の大規模改修工事を10月に契約し、令和3・4年度の2か年にかけて工事を実施しており、令和3年度では前払金等を支出した。
事業の成果	諸室の貸館業務を行いながら施設の一部を一時的に新型コロナウイルスワクチン接種会場として運営することで市民の健康維持及び増進に寄与した。新型コロナウイルス感染症対策を講じることで、利用者が安心して文化活動を行えるように整備した。新型コロナウイルスの感染拡大防止により令和2年度に引き続き利用者懇談会の開催を見送ったため、代わりに意見箱を設置することで利用者の意見を取り入れた。さらに、大規模改修工事を行うことで、良好な施設運営を継続することができ、市民活動を促進する場として、ハード、ソフト両面での快適な利用を促進した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	391,010 千円	395,307 千円	596,428 千円	380,600 千円	393,341 千円	
事業にかかる実コスト	419,671 千円	426,684 千円	624,951 千円	410,024 千円	430,072 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	152 千円
	都支出金	306 千円	0 千円	105,000 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	11,149 千円	10,514 千円	108,254 千円	3,924 千円	4,869 千円
	一般財源	379,555 千円	384,793 千円	383,174 千円	376,676 千円	388,320 千円
間接経費						
職員人件費	17,626 千円	25,202 千円	17,165 千円	16,742 千円	24,848 千円	
《従事人員数》	2.00 人	3.00 人	2.00 人	2.00 人	3.00 人	
その他の人件費	11,035 千円	6,175 千円	11,358 千円	12,682 千円	11,883 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	年間施設(貸館)使用可能件数	目標	10,158件	9,000件	9,000件
		結果	8,826件	8,181件	—
成果指標 (アウトカム)	実際の施設利用件数(利用者延べ人数)	目標	5,600件 81,000人	4,600件 75,000人	4,100件 72,000人
		結果	3,553件 28,583人	3,161件 26,450人	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 後 の 向 後 性 の イ	今後の課題や方向性に関するコメント 開館20年以上を経た現在、コロナ禍において必要な対応を講じつつ、日々の管理点検等必要な対応を実施し、今後も利用者に快適で安定的な施設として提供し続けていけるよう施設管理に努める。
	量 的	財 源 的		
B	B	B	イ	

< 関戸公民館管理運営費 >

◇ 執行状況及び成果等

1 施設使用状況

年 度	使用可能件数	使用件数				使用率 (%)	使用人数 (人)
		目的内	官公庁	主 催	計		
29	11,187	5,471	778	378	6,627	59.2%	93,607
30	11,121	5,339	747	478	6,564	59.0%	90,783
元	10,002	4,436	600	372	5,408	54.1%	68,462
2	8,826	2,793	520	240	3,553	40.3%	28,583
3	8,181	2,443	518	200	3,161	38.6%	26,450

*使用可能件数：貸出事業で、年度内に使用可能な貸出単位数。
貸出単位は、毎日各室とも9時～12時、13時～17時、
18時～22時の3単位

2 管理経費

(円)

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
経費合計	391,009,885	395,306,857	596,428,268	380,600,282	393,341,470
需用費	27,216,364	27,068,131	22,529,937	18,915,647	21,871,762
役務費	1,305,600	1,318,372	1,155,615	1,189,210	1,187,199
委託料	35,238,248	45,702,426	36,927,142	37,847,049	37,819,775
使用料及び賃借料	647,826	660,513	571,197	487,581	599,164
工事請負費	612,360	0	216,838,600	6,503,860	23,767,700
原材料費	19,764	0	0	0	0
公有財産購入費	288,864,012	283,561,293	278,258,574	272,955,855	267,653,136
備品購入費	195,480	0	2,894,400	1,839,750	0
負担金・補助及び交付金	36,908,826	36,965,227	37,247,833	38,822,330	39,949,344
償還金・利子及び割引料	1,405	30,895	4,970	2,039,000	493,390

※委託料の内訳

(円)

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
舞台照明機器保守点検委託	584,820	584,820	584,820	595,650	595,650
映像・音響機器保守点検委託	712,800	712,800	712,800	889,350	889,350
ホール吊物等保守点検委託	1,104,624	861,624	430,812	877,580	877,580
公民館施設総合管理業務委託	20,141,112	21,437,112	21,966,043	22,167,567	22,167,567
ヴィータホール施設等設備運営業務委託	8,978,040	9,136,800	7,737,422	8,566,800	8,566,800
休日及び夜間等窓口サービス業務委託	3,716,852	3,831,747	4,375,033	3,535,482	3,885,728
関戸公民館改修工事基本・実施設計	0	8,677,368	0	0	0
その他	0	460,155	1,120,212	1,214,620	837,100
計	35,238,248	45,702,426	36,927,142	37,847,049	37,819,775

事業カルテ (3年度決算)

関戸公民館

10-05-02-653 学級・講座等社会教育事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	社会教育法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	C1-1	C1-2	-	-	-
関連する個別計画	第4次多摩市生涯学習推進計画、第二次多摩市教育振興プラン					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和48年に多摩市公民館が開館し、社会教育法に基づく事業を開始した。関戸公民館は、平成11年に聖蹟桜ヶ丘駅前に開設し、市民ニーズや地域、社会的な課題等を踏まえた講座を企画し、また市民活動を支援し教育文化の振興を図ってきた。その中で一定の成果をあげた事業は見直しを行ってきた。主要事業の開催に際しては市民及び市民団体と協働し、内容の充実を図ってきた。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	社会教育法に基づき、住民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため、市民の学習支援、地域づくりの支援を行う。地域活動につながる人づくりや市民・グループの学びの発展を目指し、市民間における交流のコーディネートや、地域・生活課題に寄与できるような各種講座を展開する。令和3年度は、多摩市制50周年記念事業をはじめ、コロナ禍で感染拡大に配慮しながら、日野市との連携事業におけるICT活用「たま学びテラス」事業の実践や、施設や地域の特性を活かした工夫などで、多くの世代に親しまれる催しや市民活動支援を行う。
予算の執行方法	主催、共催事業の実施にあたり必要な講師謝礼、公演開催時の舞台設営業務委託料など事業執行に必要な経費を効果的・計画的に執行した。
事業の成果	市民の社会教育活動が豊かなものとなり、自分が持っている知識や経験などを活かす機会を創出し、スマホ入門教室など地域の生活課題等を踏まえた地域活動を始めるきっかけとすることに取り組んだ。また、市民参加による音楽、演劇などの文化活動を支援し、多くの方に楽しんでいただき、活動の広がりをすすめ、ICTの活用及びネットワーク化の推進を図った。

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	2,052 千円	1,903 千円	2,127 千円	1,480 千円	1,142 千円	
事業にかかる実コスト	25,830 千円	24,795 千円	24,624 千円	22,718 千円	17,707 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	60 千円	74 千円	34 千円	18 千円	34 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	1,992 千円	1,829 千円	2,093 千円	1,462 千円	1,108 千円
	間接経費					
職員人件費	17,626 千円	16,801 千円	17,165 千円	16,742 千円	16,565 千円	
《従事人員数》	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	
その他の人件費	6,152 千円	6,091 千円	5,332 千円	4,496 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	各種学級講座及び実行委員会共催事業等の開催	目標	40講座(140回) 2イベント	25講座(84回) 2イベント	30講座(110回) 2イベント
		結果	27講座 2イベント	39講座(100回) 1イベント	—
成果指標 (アウトカム)	事業延べ参加者数	目標	16,500人	8,250人	8,000人
		結果	2,006人	3,077人	—

特記事項

—

◇自己点検

成果指標の推移	今後の見通し		方今今後の性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財源		
B	B	B	イ	新型コロナウイルス感染症感染蔓延防止に伴う一時閉館や利用制限等により、実施を計画していた一部事業が中止となった。三密を防ぎ、感染拡大防止に配慮しながら、ICTの活用や連携により市民の学びを保障する社会教育事業の展開する手法について具体化することや、情報アクセスから取り残されないための教育機会のあり方を検討していく必要がある。

<学級・講座等社会教育事業>

◇執行状況及び成果等

1 講座等参加者数の実績

講座名	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度	
	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数
○市民企画講座	24	436	11	146	28	516	0	0	0	0
○地域貢献講座	5	50	-	-	-	-	5	79	3	67
○地域ふれあいフォーラム	1	5,500	1	6,000	-	-	-	-	-	-
○社会起業家講座	1	19	1	3	-	-	-	-	-	-
○地域課題講座	5	128	5	147	6	193	-	-	5	109
○被災地復興支援公演	1	102	-	-	-	-	-	-	-	-
○関戸寺子屋	6	15	-	-	-	-	-	-	-	-
○子育て安心講座	1	67	2	88	2	71	1	19	3	17
○薬物乱用防止講座	1	123	2	252	-	-	3	345	4	472
○親子参加型事業	1	18	1	17	1	16	-	-	-	-
○茶道教室	1	19	1	16	-	-	-	-	-	-
○自立と就労を考える (家族問題講座)	2	36	2	26	-	-	-	-	2	37
○職場体験の受入れ等	13	47	15	39	10	30	1	6	-	-
○保育室開放デー	21	396	23	422	20	338	13	23	14	40
○関戸地球大学院	6	211	6	187	6	217	6	194	6	230
○郷土史講座	4	133	4	123	2	37	2	68	1	7
○市民講座	7	152	7	194	6	141	3	65	24	238
○現代課題講座	1	25	1	27	-	-	2	168	4	149
○伝承文化教室	2	87	5	120	3	87	-	-	-	-
○市民ロビー活用事業	9	2,690	14	2,990	15	3,050	8	86	3	167
○地域活性化事業	3	2,440	3	3,354	4	2,800	-	-	1	62
○演劇フェスティバル	25	1,968	29	1,972	16	1,490	2	166	15	658
○人形げきまつり	1	2,300	1	3,000	1	1,500	-	-	-	-
○マンスリーコンサート	12	1,718	12	1,982	8	1,090	7	520	6	440
○What's Jazz	4	1,641	4	1,620	2	782	2	204	4	384
○公民館通信	6		6		6		6		6	

※ 「-」は未実施事業

2 講座別経費実績 (単位=円)

年 度 講座名	29年度			30年度			元年度			2年度			3年度		
	講師謝礼	その他	補助金	講師謝礼	その他	補助金	講師謝礼	その他	補助金	講師謝礼	その他	補助金	講師謝礼	その他	補助金
○市民企画講座	316,000	0	0	158,000	18,468	0	500,000	15,228	0	0	0	0	0	0	0
○地域貢献講座	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	197,500	5,000	0	117,000	7,814	0
○地域ふれあいフォーラム	0	58,320	0	0	150,720	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○社会起業家講座	26,000	0	0	26,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○地域課題講座	65,000	0	0	46,000	0	0	78,000	0	0	0	0	0	26,000	9,587	0
○被災地復興支援公演	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○関戸寺子屋	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○子育て安心講座	26,000	0	0	52,000	23,328	0	52,000	27,378	0	26,000	5,000	0	77,000	48,669	0
○薬物乱用防止講座	26,000	0	0	52,000	0	0	26,000	0	0	78,000	10,000	0	80,000	0	0
○親子参加型事業	0	0	0	0	0	0	40,000	0	0	0	0	0	0	0	0
○茶道教室	40,000	0	0	40,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○自立と就労を考える(家族問題講座)	52,000	0	0	46,000	31,752	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○職場体験の受け入れ等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○保育室開放デー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○関戸地球大学院	156,000	0	0	156,000	0	0	156,000	0	0	156,000	40,000	0	144,000	15,738	0
○郷土史講座	26,000	0	0	0	0	0	52,000	0	0	52,000	10,000	0	0	0	0
○市民講座	78,000	223,783	0	39,000	225,861	0	36,000	230,038	0	10,000	120,000	0	0	0	0
○現代課題講座	26,000	0	0	26,000	0	0	0	0	0	48,000	20,000	0	104,000	10,500	0
○伝承文化教室	0	0	0	52,000	0	0	76,000	0	0	0	0	0	0	0	0
○市民ロビー活用事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,500	0
○地域活性化事業	26,000	0	0	26,000	0	0	156,000	96,120	0	0	0	0	0	22,388	0
○演劇フェスティバル	0	320,760	0	0	362,880	0	0	303,520	0	0	481,200	0	0	343,426	0
○人形げきまつり	0	145,800	0	0	151,200	0	0	154,000	0	0	0	0			
○マンスリーコンサート	0	220,320	0	0	220,320	0	0	129,200	0	0	217,000	0	0	98,990	0
○What's Jazz	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,864	0	0	34,000	0
○公民館通信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 「-」は未実施事業

事業カルテ (3年度決算) 合体カルテ(サブカルテ有)		図書館
10-05-03-655~659	図書館事務経費・図書整理事業・図書購入事業・図書館運営経費・障がい者サービス事業	

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	図書館法、障害者差別解消法、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち					
	政策 C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり					
	施策 1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり					
	関連する施策	A2-1	A2-2	B4-1	-	-	
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、多摩市読書活動振興計画、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画、第四次多摩市生涯学習推進計画						
関連する報告書など	多摩市の教育、多摩市の図書館、多摩市立図書館本館再構築基本構想、多摩市立図書館再整備基本計画						
事業開始の経緯、 これまでの見直し改善など	昭和48年の開館以来貸出サービスを中心に市民の読書を支え、図書館網を整備してきた。平成17年度にインターネット対応、学校図書館との連携等図書館システムの再構築を実施。23年度には唐木田図書館を業務委託方式で開館。28年度に読書活動振興計画を策定。30年度に図書館コンピュータシステムを更新した。令和2年度から多摩市デジタルアーカイブの公開、電子図書館の運用を開始した。						

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和3年度の目標	持続可能な社会を目指し、すべての市民が必要とする資料や情報を得ることを支え、気軽に利用できる図書館サービスの実現のため積極的な図書館活動を推進する。市役所内各課の事業と連携し、関連したテーマの本の企画展示を実施し、健幸まちづくりに繋がる事業への取り組み等を広く情報提供する。図書購入事業において中央図書館分の図書購入を進める。令和3年1月に運用を開始した電子図書館のコンテンツを充実させていく。	
予算の執行方法	図書館運営全体にかかる経費。人件費、図書費、施設維持管理費、業務委託料等の執行。	
事業の成果	多摩市読書活動振興計画や第三次多摩市子どもの読書活動推進計画を進め、市民の読書活動の振興を図り、すべての市民が必要とする情報を提供することに努めた。また、中央図書館分の図書購入を計画的に実施するとともに、令和3年1月に運用を開始した電子図書館のコンテンツを充実させた。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	269,337 千円	290,365 千円	270,519 千円	390,297 千円	321,458 千円	
事業にかかる実コスト	604,234 千円	615,578 千円	595,165 千円	698,910 千円	634,183 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支出金	1,194 千円	1,116 千円	856 千円	1,109 千円	927 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	1,678 千円	1,484 千円	1,352 千円	1,238 千円	740 千円
	一般財源	266,465 千円	287,765 千円	268,311 千円	387,950 千円	319,791 千円
間接経費						
職員人件費	262,098 千円	247,818 千円	235,760 千円	228,194 千円	226,445 千円	
《従事人員数》	29.74 人	29.50 人	27.47 人	27.26 人	27.34 人	
その他の人件費	72,799 千円	77,395 千円	88,886 千円	80,419 千円	86,280 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	図書館の開館日数 (市内いずれかの図書館が開館している日数)	目標	357日	356日	355日
		結果	310日	356日	—
成果指標 (アウトカム)	資料の貸出冊数	目標	1,727,000冊	1,692,000冊	1,692,000冊
		結果	1,193,437冊	1,476,710冊	—

特記事項	平成29年度より図書館本館再整備事業、令和2年度より地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブ事業を除いた図書館事業カルテとしている。
------	--

◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の ウ	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 的	財 一 源 般		
B	A	A	ウ	中央図書館の整備にあたりサービスの向上と運営の効率化を図るため、事業、運営の見直しを進める。